

光合成の促進と品質向上に!

葉面散布

ナイカイ

# 葉面マリン

水に  
早く  
早く  
溶け  
効く



灌水液肥・水耕栽培の  
苦土源としても最適です。

10kgポリ袋

製造:  ナイカイ塩業(株)化成工場

# 水に速く解け 早く効く

# ナイカイ 葉面マグ

(硫酸マグネシウム)

## 葉面マグの必要性

- ナス、トマト、メロン、スイカ、キュウリなどの果菜類、ミカン、リンゴ、ナシ、ブドウなどの果樹類は、特にマグネシウム欠乏症になりやすい。
- その要因について
  1. 開花期から結実期にたくさんマグネシウムを要求しますが、その要求に合わせて、吸収される形のマグネシウムが土中に不足しているとき。
  2. 土中に吸収されやすい形(置換性)のマグネシウムは十分あっても、水分不足のため吸収されにくいとき。
- 生育が旺盛であればあるほど、欠乏症になりやすく、そのままにしておきますと、品質の低下、収量減になります。速やかに葉面マグを全面に(特に葉裏へ丁寧に)散布して下さい。

## 葉面マグの効果

- ★発生した苦土欠乏症の進行を止めます。
- ★事前散布により苦土欠乏症の発生を未然に防ぎます。
- ★定期的な散布により、光合成が促進され、品質の向上に寄与します。
- ★灌水液肥・水耕栽培の苦土源としても最適です。

## 葉面マグの保証成分

組成	純分	保証成分	pH	形状
MgSO <sub>4</sub> ·7H <sub>2</sub> O	99%	W-MgO 16%	中性	結晶

## 葉面マグの葉面散布時の使用例

使用場面	希釈倍率	散布回数
苦土欠乏対策の場合	軽症 200倍～300倍 重症 50倍～100倍	7日～10日おきに 5回以上
	300倍～500倍	
苦土補給の場合	300倍～500倍	10日～15日おきに 5回以上 (農業散布時に適当回数混用可)

■苦土欠乏症状の目安/下葉から所々に始まった…軽症 下葉から中葉まで発生した…中症 全体的に発生した…重症

## 葉面マグの灌水液肥時の使用例

- 1回につき10kg(10a当り)を適量の水にとかして、樹勢を見ながら適宜10日～15日おきに4回～6回施用して下さい。液肥との混用は、高アルカリの資材以外でしたら混用可能です。



### 注意事項

- アルカリ性の強い農薬とは混用しないで下さい。
- 日差し強い日中を避けて施用するほうが効果的です。
- 葉面マグの散布だけでは、苦土の補給は完全とはいえません。次作(果樹類は収穫後)からは併用で姉妹品の、ナイカイ硫マグまたはニューエコマグまたはスーパーマグを土壌に施用して下さい。さらに高品質で味の良い作物が生産できます。